



第42回JSBA全日本スノーボード選手権大会 デュアルスラローム おおくぼりこ 大久保里恋さんが出場

小国中学校2年生の大久保里恋さんが第42回JSBA全日本スノーボード選手権大会に出場することに伴い、2月22日に激励金交付式が行われました。大会に向けて大久保さんは「練習の成果を発揮し、表彰台に上がれるように頑張りたい」と決意表明しました。

大久保さんは3月4日に長野県のよませ温泉スキー場で開催された同大会において、出場種目で優勝しました。



▲スノーランタンをバックに披露されたyataiパフォーマンス

道の駅四季のイベント

白い森スノーフェスティバル

2月24日、道の駅白い森おぐにを会場に白い森スノーフェスティバルが開催されました。

SNS等で話題の「ティラノサウルスレース」が開催されたほか、白い森未来フェスとしてスノーランタンの点灯やyataiパフォーマンスが披露され、来場者を楽しませていました。

夕方には花火の打ち上げがあり、冬の小国の空を彩りました。

第26回 雪の学校

マタギと一緒に雪山散策

3月2日から3日にかけて、白い森交流センターリふれ周辺を会場に、雪の学校が開催され、県内外から29人のかたが参加しました。

1日目のスノートレッキングでは、地元マタギの案内で徳綱山登山道を登りました。ときどき雪が降る天候でしたが、最後には青空が広がり、五味沢の眺望を楽しむことができました。また、火まつりの体験やマタギのかたがたとの交流等が行われ、小国の自然と文化を満喫しました。



3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式 自分だけの家具を仕上げる

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式が3月3日、おぐに開発総合センターで開催されました。これは幼い頃から町内産材と触れあうことにより地元への愛着を深め、木育を推進することを目的に実施しており、今年度は28人が対象で当日は8家族が出席しました。

贈呈した家具は踏み台やイスとして使用できる「バディベア」で、家具を長持ちさせるため、米ぬか油を塗って仕上げるワークショップも行いました。



▲小国町交通安全母の会への感謝状の贈呈

交通安全56年、活動に幕

小国町交通安全母の会が解散

小国町交通安全母の会の臨時総会が3月9日に開かれ、令和6年3月31日をもって解散することが決まりました。同会は交通事故が社会問題となっていた昭和42年に発足し、「交通安全は家庭から」を合言葉に長年活動を続けてきましたが、社会構造や交通環境の変化を踏まえ、解散することになりました。

総会の最後には、森本小国警察署長から同会に対し感謝状の贈呈が行われました。

なお、同会が実施していた交通遺児激励事業は町交通安全推進協議会に引き継がれます。

第10回マタギの里小玉川雪まつり

雪の中の大冒険<番外編>

小玉川地区青年団イチコロが主催する雪の中の大冒険が3月10日、旧小玉川小中学校グラウンドで開催されました。

雪不足のため、恒例の雪の巨大迷路は制作されませんでした。当日は多くの家族連れが訪れ、雪のなかでの宝探しやソリ滑りなど冬ならではの遊びを楽しんでいました。また、ティラノサウルスの着ぐるみを身につけてのスノーフラッグも開催され、会場は大いに盛り上がっていました。

